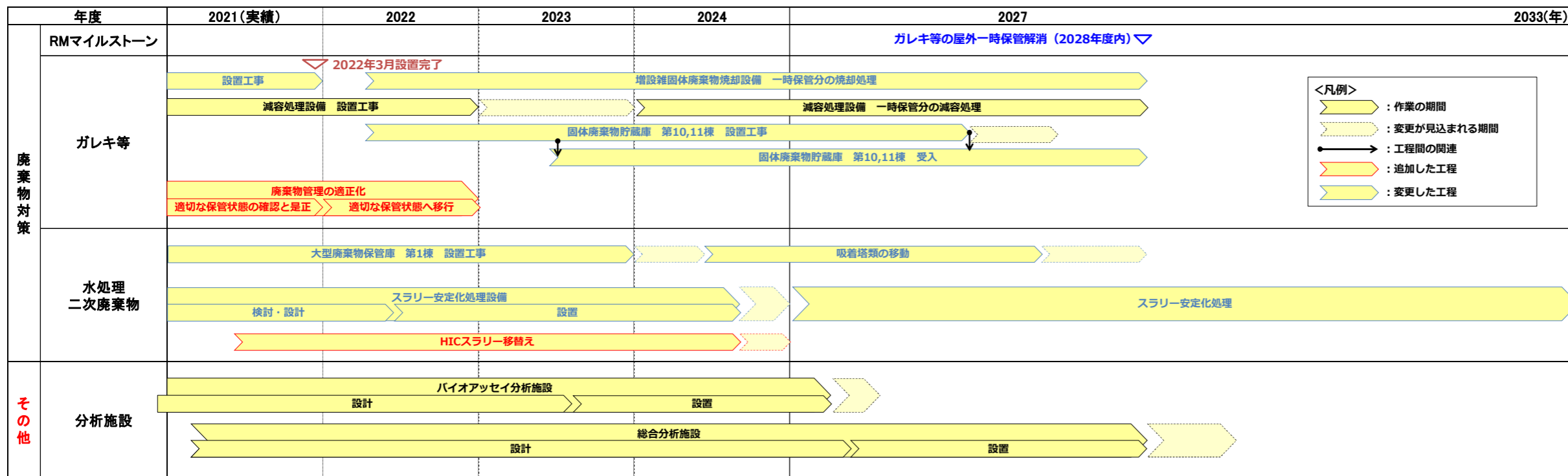


放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	概略	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	スケジュール												備考			
				12月	1月				2月	3月	4月	5月	6月	7月以降					
●ガレキ等の屋外一時保管解消（2028年度内）	1. 保管適正化の推進	一時保管エリアの変更 (実績/予定)	核種・設計																
		雑固体廃棄物焼却設備 (実績) ・処理運転 (A・B系) (予定) ・処理運転 (A・B系) ・年次点検 (A・B系)	現場作業	【A系】 処理運転 【B系】 処理運転 年次点検															・ 停止期間 (1/29~1/3) ・ 2023年1月21日から2月22日までの予定でB系、2月4日から3月21日までの予定でA系について年次点検を実施予定
		増設雑固体廃棄物焼却設備 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転 ・清掃 ・簡易点検	現場作業	処理運転 清掃 簡易点検 処理運転															・ 停止期間 (1/29~1/3) ・ 主灰取出ボックス清掃のため、運転を停止した。清掃後の1/30頃に運転再開予定。 ・ 2023年2月下旬~3月上旬までに簡易点検を実施予定
		除染装置 (AREVA) スラッジ (実績) ・スラッジ対処方法検討 ・建屋内線量低減 ・プロセス主建屋仮設構台の据付、開口部設置 (予定) ・スラッジ対処方法検討 ・建屋内線量低減 ・プロセス主建屋仮設構台の据付、開口部設置	核種・設計 現場作業	スラッジ対処方法検討 プロセス主建屋仮設構台の据付、開口部設置 建屋内線量低減															・ 2021年11月22日監視・評価検討会を踏まえ、閉じ込め機能に関する設計見直しを実施中 ・ プロセス主建屋内の線量低減対策 (干渉物除去) に用いる遠隔重機、スラッジ抜き出し装置の搬入を目的に、「仮設構台の据付、開口部設置」を実施中。 2021年9月16日：仮設構台の据付着手 2022年10月18日：開口部設置の着手
		減容処理設備 (実績) ・内装、設備工事 (建築、機電) ・外構工事 ・放管関係工事 (予定) ・内装、設備工事 (建築、機電) ・外構工事 ・放管関係工事 ・運用開始、処理運転	現場作業	内装、設備工事 (建築、機電) 外構工事 放管関係工事															・ 2023年5月：設備竣工 ・ 2023年6月～：運用開始、処理運転 予定
		固体廃棄物貯蔵庫第10棟 (実績) ・設計検討 ・地盤改良工事 (10-A~C棟) (予定) ・設計検討 ・地盤改良工事 (10-A~C棟) ・建築工事 (10-A~C棟)	核種・設計 現場作業	設計検討 地盤改良工事 (10-A~C棟) 建築工事 (10-A~C棟)															・ 2024年4月：10-A棟竣工 (工程調整中) ・ 2024年7月：10-B棟竣工 ・ 2025年3月：10-C棟竣工 ・ 2021年2月13日の地震に関する影響評価を踏まえ、見直しを実施
		固体廃棄物貯蔵庫第11棟 (実績/予定) ・設計検討	核種・設計	設計検討															・ 2021年2月13日の地震に関する影響評価を踏まえ、追加の耐震評価を実施予定
		大型廃棄物保管庫 (実績) ・設計検討 ・外壁工事 (予定) ・設計検討 ・外壁工事 ・クレーン設置工事	核種・設計 現場作業	設計検討 外壁工事 クレーン設置工事															・ 2/13の地震に関する影響評価を踏まえ、大型廃棄物保管庫の設置時期は、建屋全体の補強対策が必要となる可能性が大きくなったため、実施要否を2023年3月までに決定する。このため、設置完了時期は2023年度より遅れる見込みだが、使用済吸着剤受け入れ時期の前倒し方策を含めて検討を進める。
		●水処理二次廃棄物	2. 保管適正化の推進のための設備設置	スラリー安定化処理設備 (実績) ・安定化処理設備の設計方針検討 (予定) ・適用性、成立性確認 ・安定化処理設備の詳細設計検討 ・建屋現地工事	核種・設計 現場作業	安定化処理設備の設計検討 建屋現地工事													・ 2022年9月12日 第102回監視・評価検討会において示された「番直上の観点」を踏まえ、設計見直しを実施中 ・ 2022年度内を目途に全体工程の見直しを実施

分野名	廃炉中長期実行プラン2022 目標工程	括弧の 作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	12月	1月				2月	3月	4月	5月	6月	7月以降	備考	
				25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	1		8
●その他廃棄物対策関連作業	3. 固体廃棄物の性状把握	(実績) ・計画に基づいたサンプリングの実施 ・計画に基づいた吸着塔サンプリングの実施 ・瓦礫類分析 ・汚染水分析・水処理二次廃棄物分析  (予定) ・サンプリング実績及び分析結果取り纏め、次年度分析計画検討 ・計画に基づいたサンプリングの実施 ・計画に基づいた吸着塔サンプリングの実施 ・瓦礫類分析 ・汚染水分析・水処理二次廃棄物分析	核種・設計 サンプリング実績及び分析結果取り纏め、次年度分析計画検討												・多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取  (採取継続)  (分析継続) ・水処理二次廃棄物：ALPS吸着材等を分析中 ・これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている リスト： <a href="https://clacis.jaea.go.jp/ip/rd/tech-info.html">https://clacis.jaea.go.jp/ip/rd/tech-info.html</a> 検索： <a href="https://frandl-db.jaea.go.jp/FRAnDLI/">https://frandl-db.jaea.go.jp/FRAnDLI/</a>	
			現場作業 計画に基づいたサンプリングの実施 計画に基づいた吸着塔サンプリングの実施 瓦礫類分析 汚染水分析・水処理二次廃棄物分析													
●分析施設	4. 分析・研究施設の設置	JAEA分析・研究施設第1棟	現場作業 (実績) ・放射性物質を用いた分析作業 (分析法の妥当性確認/研究開発による分析を含む) (予定) ・放射性物質を用いた分析作業 (分析法の妥当性確認/研究開発による分析を含む)												・2022年6月竣工  (分析継続) 放射性物質を用いた分析作業(分析法の妥当性確認/研究開発による分析を含む)	
		バイオアッセイ施設	核種・設計 (実績/予定) ・詳細設計(準備作業)													(2023年8月完了予定)
		総合分析施設	核種・設計 (実績/予定) ・設計検討													(2024年3月完了予定)

廃炉中長期実行プラン2022



# 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2022.12.31時点)

分類	保管場所	保管容量※1	保管量※1	前回集約からの増減※2 2022.11.30 - 2022.12.31	エリア 占有率	保管量/保管容量※1 (割合)	トピックス			
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	13,800 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	16%	236,500 / 266,300 (89%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な増減理由</li> <li>港湾関連工事、エリア整理のための移動(エリアC)</li> <li>エリア整理のための移動(エリアP1)</li> <li>フランジタンク除染作業(エリアAA)</li> <li>港湾関連工事、エリア整理のための移動(エリアe)</li> </ul>		
		B	5,300 m <sup>3</sup>	5,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	100%				
		C	67,000 m <sup>3</sup>	66,200 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>	99%				
		F2	6,400 m <sup>3</sup>	6,400 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	99%				
		J	6,300 m <sup>3</sup>	6,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	99%				
		N	9,700 m <sup>3</sup>	9,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	99%				
		O	44,100 m <sup>3</sup>	44,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	100%				
		P1	62,700 m <sup>3</sup>	59,600 m <sup>3</sup>	-200 m <sup>3</sup>	95%				
		U	800 m <sup>3</sup>	700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	100%				
		V	6,000 m <sup>3</sup>	6,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	100%				
	AA	36,400 m <sup>3</sup>	22,900 m <sup>3</sup>	+700 m <sup>3</sup>	63%					
	d	1,200 m <sup>3</sup>	1,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	100%					
	e	6,700 m <sup>3</sup>	6,200 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	94%					
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	2,700 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	97%			46,800 / 50,700 (92%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な増減理由</li> <li>エリア整理のための移動(エリアE1)</li> <li>エリア整理のための移動(エリアW)</li> <li>エリア整理のための移動(エリアX)</li> <li>エリア整理のための移動(エリアn)</li> </ul>
		E1	15,400 m <sup>3</sup>	14,100 m <sup>3</sup>	-500 m <sup>3</sup>	92%				
P2		6,700 m <sup>3</sup>	5,800 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	86%					
W		11,600 m <sup>3</sup>	11,100 m <sup>3</sup>	+700 m <sup>3</sup>	96%					
X		7,900 m <sup>3</sup>	7,300 m <sup>3</sup>	-300 m <sup>3</sup>	93%					
m		3,100 m <sup>3</sup>	3,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	99%					
覆土式一時保管施設、容器 (1~30mSv/h)	n	3,300 m <sup>3</sup>	2,800 m <sup>3</sup>	-500 m <sup>3</sup>	85%	17,100 / 17,900 (96%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な増減理由</li> <li>エリア整理のための移動(エリアE2)</li> <li>1~4号機建屋周辺関連工事、エリア整理のための移動(エリアF1)</li> </ul>			
	L	16,000 m <sup>3</sup>	16,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	100%					
	F2※3	1,200 m <sup>3</sup>	500 m <sup>3</sup>	-100 m <sup>3</sup>	40%					
固体廃棄物貯蔵庫	F1	700 m <sup>3</sup>	600 m <sup>3</sup>	+600 m <sup>3</sup>	100%	28,800 / 39,600 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な増減理由</li> <li>1~4号機建屋周辺関連工事</li> </ul>			
	固体廃棄物貯蔵庫※3	39,600 m <sup>3</sup>	28,800 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	73%					
合計(ガレキ)		374,400 m <sup>3</sup>	329,200 m <sup>3</sup>	+600 m <sup>3</sup>	88%					
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	40,000 m <sup>3</sup>	27,200 m <sup>3</sup>	-1,600 m <sup>3</sup>	68%	88,000 / 134,000 (66%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な増減理由</li> <li>増設雑固体廃棄物焼却設備による焼却(エリアG)</li> </ul>		
		H	43,000 m <sup>3</sup>	31,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	74%				
		M	45,000 m <sup>3</sup>	26,900 m <sup>3</sup>	-100 m <sup>3</sup>	60%				
		V	6,000 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>	37%				
	一時保管槽 (枝・葉)	G	29,700 m <sup>3</sup>	26,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	88%	37,300 / 41,600 (90%)			
T	11,900 m <sup>3</sup>	11,100 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	94%						
合計(伐採木)		175,600 m <sup>3</sup>	125,300 m <sup>3</sup>	-1,700 m <sup>3</sup>	71%					
保護衣	屋外集積	52,500 m <sup>3</sup>	16,000 m <sup>3</sup>	-2,900 m <sup>3</sup>	30%	16,000 / 52,500 (30%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済保護衣等焼却量： 12,449 t (2022年12月末累積)</li> <li>焼却灰・プラスト材のドラム缶相当数： 3,870 本 (2022年12月末累積)</li> <li>焼却灰は固体廃棄物貯蔵庫9棟2階に放射性廃棄物として保管</li> </ul>			
	合計(使用済保護衣等)	52,500 m <sup>3</sup>	16,000 m <sup>3</sup>	-2,900 m <sup>3</sup>	30%					

※1 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある

※2 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは50m<sup>3</sup>未満の増減を示す

※3 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む

# 仮設集積の管理状況(2022.12.31時点)

分類	場所	保管容量※1	保管量※1	前回集約からの増減※2 2022.11.30 - 2022.12.31	エリア 占有率	保管量/保管容量※1 (割合)	トピックス
仮設集積	①	2,200 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	100%	57,900 / 76,200 (76%)	①：木材等を破碎し減容を図るための仮設集積 ②：可燃物等を圧縮し減容を図るための仮設集積 ③～⑤：一時保管エリアとして設定するため、実施計画の変更認可申請申請中 ⑥：2023年3月末までに移動して解消する
	②	2,000 m <sup>3</sup>	1,900 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>	97%		
	③	5,400 m <sup>3</sup>	2,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	36%		
	④	44,800 m <sup>3</sup>	41,500 m <sup>3</sup>	+1,500 m <sup>3</sup>	93%		
	⑤	18,800 m <sup>3</sup>	9,100 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	48%		
	⑥	3,000 m <sup>3</sup>	1,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	43%		

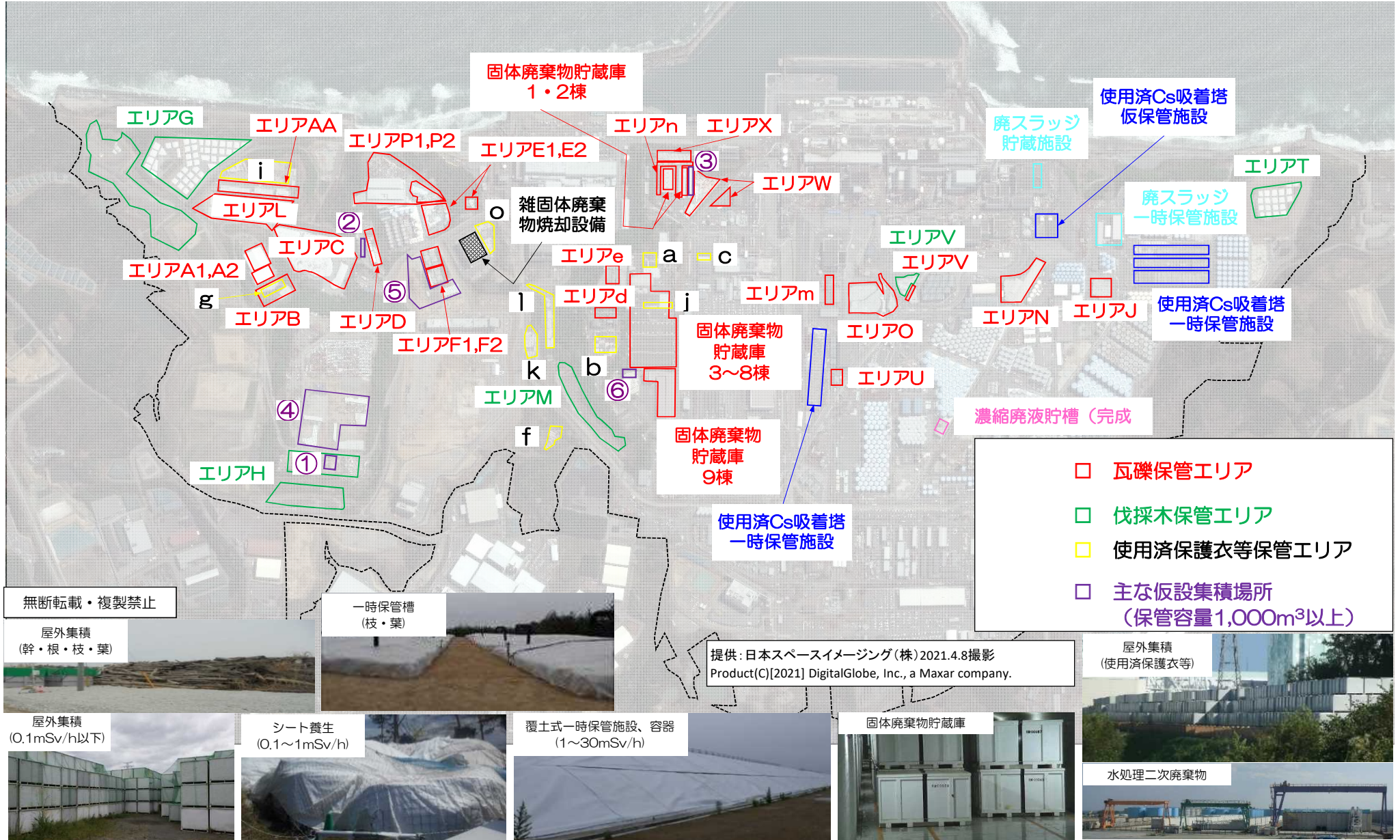
※1 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある

※2 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは50m<sup>3</sup>未満の増減を示す

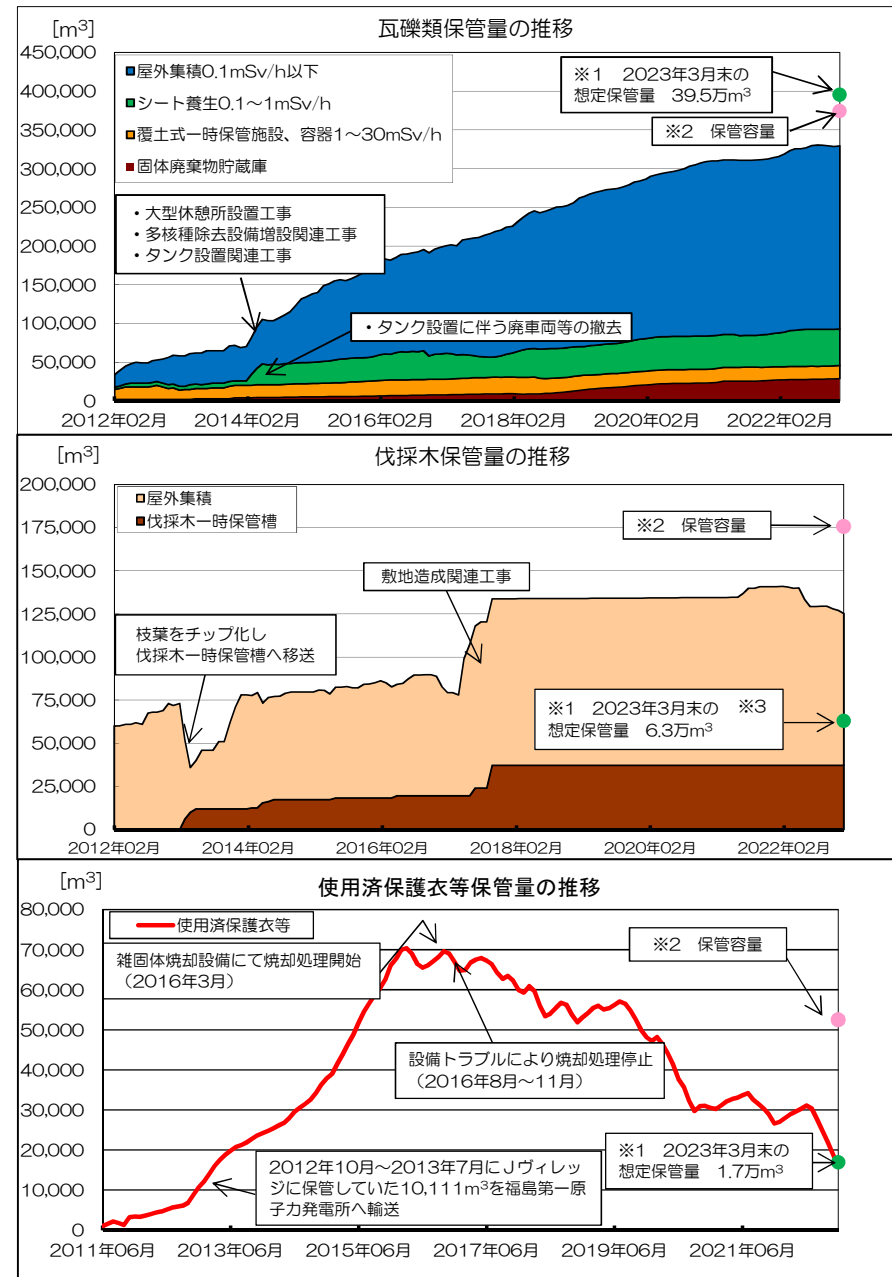
# 水処理二次廃棄物の管理状況(2023.1.5時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 2022.12.1 - 2023.1.5	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	5,493 / 6,308 (87%)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	254 本	0 本		
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	16 本	+3 本		
		多核種除去設備等保管容器	既設 2,016 基	+3 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能 91 本	+15 基		
		多核種除去設備処理カラム	既設 17 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	222 本	0 本		
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	453 m <sup>3</sup>	+12 m <sup>3</sup>	453 / 700 (65%)		
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,383 m <sup>3</sup>	-12 m <sup>3</sup>	9,383 / 10,300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内(現場パトロール異常なし)</li> <li>水位計0%以上の保管量： 9,283 m<sup>3</sup></li> <li>タンク底部～水位計の保管量(DS)： 約 100 m<sup>3</sup></li> </ul>	

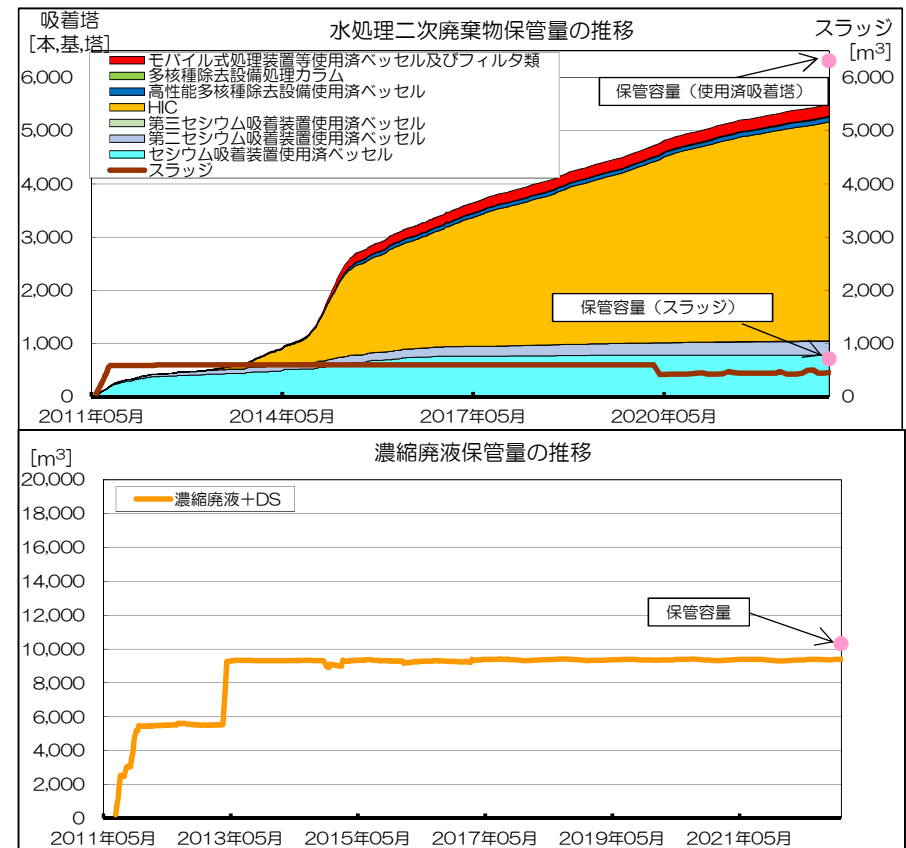
# 福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



### 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2022.12.31時点)



### 水処理二次廃棄物の管理状況(2023.1.5時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2022年10月27日認可)の予測値を示す。  
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。  
 ※3 増設雑固体廃棄物焼却設備の竣工遅れに伴い見直し予定